



## 第7回 NCL セミナーのご案内

# 「創造する脳～”時間”と私」

開催案内) 「あっ！もうこんな時間・・・」時間が私たちの前を瞬く間に過ぎていくように感じます。はたして「時」は過去から現在。未来へ絶え間なく流れていくものなのでしょうか。そもそも、時候の挨拶から仕事や経済のルールまで、なぜ人間は進化の中で「時間」という概念をつくりあげてきたのでしょうか。

今回は、この疑問に「脳と時間」の関係から迫ります。きっと「あなたと時間」の新しい関係を発見していただけるものと思います。また、ワークショップでは、メディアアートという創造的ソフトを使い、未来からみた「時間」を楽しむ方法も体験いただきたいと思います。

自分らしい時間のあり方にちょっと想いを馳せる、そんな《時間》を体験いただければ幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。 NCL理事長 多根伸彦

日 程) 2010年12月2日(木) 14:00～17:30

定 員) 50名(一般および会員)

場 所) 東京都写真美術館1F創作室 (〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内)

プログラム)

### ●ワークショップ「時を視る、時を聴く」

岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー教授 赤松正行

講演要旨) ネットワーク・リモート写真撮影の「AirCamera」による時空間の操作、iPhone 内蔵カメラを使ってさまざまな映像効果をリアルタイムに作り出す「Mirrorscope」、スリット・スキャン方式によって撮られるカメラ映像をスキャナーのように時間をかけて画像を作り出す「Timetracks」など、時間とアート、時間とビジネスをテーマとしたいろいろなiPhoneアプリケーションの実演を行い、時間という出来事共有にまつわる新しい価値や側面を発見する。

プロフィール: 赤松 正行(アカマツ・マサユキ)

京都市立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了、博士(美術)。現在、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)教授、Dynamic Sensory Programming(DSP)コースを担当。10代半ばよりエレクトロニクスやコンピュータを用いた音楽制作を始め、映像やネットワークなど様々なメディアへと制作範囲を広げる。代表作には、50台のコンピュータによって音と映像を提示する「incubator」、鑑賞者の時間体験をリアルタイムに映像化する「Time Machine!」、電気刺激によって身体をコンピュータ制御する「Flesh Protocol」、ラジオ放送を解読してロボットが演奏する「decipher」など。ソロやセッションによる演奏活動も数多く行っている。neumannpiano の他に、The Breadboard Band のメンバーでもある。

### ●講演「脳と時間」

東京女子医科大学神経内科主任教授 岩田 誠

講演要旨) 脳は、種類の異なる感覚情報に基づいて、外界の状況を脳内に構築し、その変化を捉えている。しかし、外界の情報の中で最も重要な意義を有する、空間と時間の情報を捉えるための特異的な感覚器というものはない。それにもかかわらず、脳は空間も時間も、そしてその変化をも知ることが出来る。それを捉える感覚器がないというのに、どうしてそんなことが可能なのか。その仕組みについて考えてみたいと思う。

プロフィール: 岩田 誠(イワタ・マコト)

1942年生まれ。1967年東京大学医学部卒業。1972年パリ大学第6医学部サルペトリエール病院、1976年アインスタン医科大学モンテフィオーレ病院に留学。1982年東京大学神経内科助教授。1994年東京女子医科大学神経内科主任教授。2004年同大学医学部長を経て、現在に至る。米国神経学会、フランス国立医学アカデミー-外国人会員。日本自律神経学会、日本神経心理学会理事長。日本神経学会、日本高次脳機能障害学会、日本頭痛学会、日本認知症学会理事。日仏医学会副会長。日本脳神経 CI学会、日本音楽医療研究会代表世話人。中山賞大賞、仏日医学会年度賞、時実利彦記念賞特別賞、毎日出版文化賞受賞。

以上

## NPO法人ニューロクリアティブ研究会

140-0001 東京品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー9階  
株式会社 三城HD 品川事務所内  
TEL03-6408-8639 FAX TEL03-6408-8642  
e-mail: masanori.tamura@paris-miki.jp